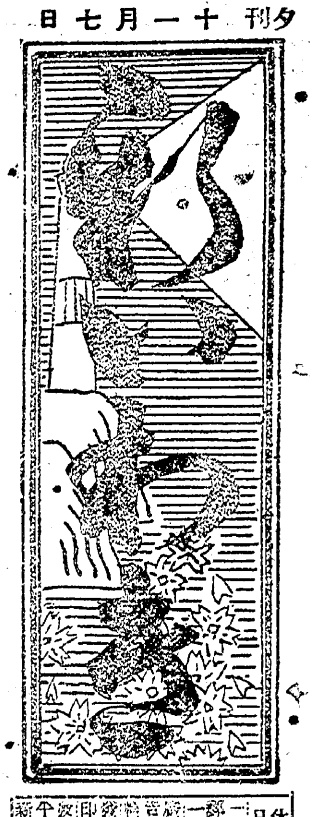

休日 日曜大祭日
一ヶ月 廿五錢 郵稅 十五錢 一部 二錢
廣告料 一行四〇錢 場所指定廿錢增
發行兼編輯人 印刷人 半谷政喜
發行所 福島縣平南町廿 新いわき新聞社

遲々として進まぬ 磐越銀行の未拂株

結局訴訟の外なき模樣 拂戻は三割位の見込

平町磐越銀行に於ける破產整理は目下訴訟中のものもあるが債權調査會の確定額二十六萬一千圓に對する同行の貸付債權並に有價動產其他を時價に踏んだ實際の見込額約

五千圓 及び一株十七圓五十錢の未拂一萬六千株餘の二十八萬五千圓この取立可能額七萬圓を合する七萬五千圓の整理に着手し去七月末最初の催告を發したが運びのついたものは未だ大した

數字に 上つてゐない模樣であつて管財人としては成るべく圓滿裡の解決を圖り未拂にはまだ訴訟までに至つたものはないが同行の整理が斯の如く遲々として進捗せざるものには監査委員に推された

湯本町 若松孝平氏が破產の告訴側であつた同町の立場上曩きに報告書を發し次へで最近平町マルトモ樓上に株主總會を開かれ前記未拂株の取立見込額七萬圓とせる數字の上から之れを全般的に回收する

二割の 支拂を附議した左記委員を上げて管財人と交捗し實行不能の故を以て不調に終つた關係もあるらしく從つて該整理の進捗には結局最後の手續きを行ふことになるであらうと見られてゐる

▲株主から推された委員 花澤久一郎、前澤文太郎(平町)金成淺治(好間)田子祐太郎(泉)長瀨米治(植田)以上

武道大會出場希望者

申込は平署へ

大日本武德會福島支部主催の柔劍弓道優勝旗爭奪の武道大會は十五日福島市紅葉山武德殿に開催し續いて十六日から三日間武德會本部主催の柔劍道講習會が同所で開かれるが本部より同大會に出場すべき適當の選手がないため目下平署で募集中であるが希望者は同署まで申込まれたいと

海軍志願兵徵募檢査

郡下に於ける明年度海軍志願兵徵募檢査は豫定人員百九十五名で明春三月一、二、三の三日間平第三小學校で執行されると

唯一の指導機關として 銘記すべき其業績

廢止說ある農試石城分場が創設以來指導奬勵の成果

今回の縣の行政整理の槍玉に擧げられて地方から猛烈な廢止反對の運動を起されてゐる農事試驗場石城分場は大正十二年に開設されたものであるが

爾來今日 まで九年その間石城郡に於ける唯一の農務指導機關として地方の產業開發に盡したる成果の主なるものを擧ぐれば梨の生產額は設置當時の約三七十六萬貫に達し桃は二倍餘六萬五千貫の

生產を示 し共に品質の向上に努めた結果近年漸く中央市場に聲價を高めつゝある、柿も相當生產額は增加したが目下は優良品種の養成に努めつゝあり蔬菜は當時栽培するもの僅か二三町歩に過ぎなかつたが分場指導により

現在廿町 步に及び苹果は從來栽培困難とされてゐたが試驗の結果栽培可能なるを知り一昨年より苗木を配布して奬勵に努めつゝある亦蔬菜類は總生產額に於て三割餘の增收を見、殊に葱頭甘藍、トマト、結球白菜等は

當時その 栽培法を知る者なき有樣であつたが之が指導奬勵の結果現在葱頭十四萬貫、甘藍四十二萬貫、白菜九十五萬貫、トマト十萬貫の生產を見るに至つた、次に水田二毛作蔬菜栽培の普及は

分場開設 以來の事で當時二毛作としての蔬菜は僅かに蕪菁、馬鈴薯、菜類に過ぎなかつたが近年は前記の外甘藍、葱頭、豌豆等の栽培盛んになりその栽培面積百町歩に及んでゐる以上は大體同分場開設以來今日迄の

經過を示 したもので九年間しいとして研究指導の結果は近年漸くその成績を適確に證明しつゝある爲に同分場參觀人の數も年と共に增加し一ケ年約六千餘人を算し尚每月一回開催する農事傳習會に集まるもの

百五十名 に及び分場を理解し利用するもの益々多きを加へつゝあり現在地方農業家にとつては缺くべからざる指導機關となつてゐる

江名町出身 中田上等兵 名譽の戰死

嫩江の激戰で

江名町大字江名字南町漁業家由松四男中田七藏(二四)君は昨年步兵廿九聯隊第二大隊より滿州守備隊へ出征し伍長勤務上等兵として勤務してゐたが去る五日午前二時頃嫩江北岸附近に於ける黑龍江軍との激戰に名譽の戰死を遂げた旨七日午前四時實家へ入電があつた

平・野球聯盟リーグ戰始る

日割及組合決定

磐陽野球後援會主催の平野球聯盟リーグ戰日割及組合せ左の如くである

八日午前九時遞友對平商(平商球場)鐵道對平倶(磐中球場)午後一時鐵道對磐中(平商球場)平倶對遞友(磐中球場)十五日午前九時鐵道對遞友(平商球場)磐中對平倶(磐中球場)午後一時鐵道對平商(平商球場)磐中對遞友(磐中球場)隨時磐中對平商平倶對平商(磐中球場)と

棚からボタモチの樣に 二百七十圓が轉げ込む

落し主不明の大金が拾ひ主へ

この不景氣にぬれ手で粟の摑み取り的に二百七十圓と云ふ大金が轉げ込むといふ夢のやうな話。平町鍛治町一八菅野はるよさんは昨年の十月廿二日同町南町の平產婆看護婦學校前で手の切れるやうな十圓札で二百七十圓を拾得して平署へ屆け出たが爾來今日まで滿一ヶ年經過しても遺し主が判明せぬため拾得金の全部を平署から下げ渡されることになつた

ぶり豐漁

豐間活氣づく

郡下各濱では當込んでゐた秋刀魚がひどい不漁で悲觀してゐたが豐間海岸沖に最近おびたゞしいブリ群が來游して來た、豐間大敷網では去る五、六兩日間で一萬尾を漁獲し引つゞき一日平均八千圓內外の好漁を示し濱一帶はにはかに活氣づいて來た、尚平町市場に於ける相場は十割を唱へてゐる

地租免稅申請

大野村外二ヶ村

平移務署管內に於ける過般の暴風雨のため被害を蒙り荒地として地租免稅方を申請したものは大野村六町步內郷村二町步、好間村一町步、合計九町步餘で免稅地租も僅かに八十圓內外に過ぎなかつた

無情な汽車に隔てられ 流浪十年旅藝人の母子

昔戀しい夫が平に居るときゝ 淚ながらに其筋へ搜索願

山形縣東田川郡廣野村大越生れ旅藝人原もゝ代は今から十年前元巡查の寡婦として東京深川に居た頃知り合つた岩手縣生れ齋藤一治と懇ろになり懷姙したので故郷へ歸るべく上野驛から乘車し所用あつて茨城縣磯原驛に下車したところ車中に忘れ物を取りに戾つた男を乘せた儘汽車は動き出し二人は離れ離れになつて了つたが星移つて其後もゝ代は旅藝人の夫を持ちさきに腹の中にあつた齋藤の子は千治と名付けて三人暮しで旅を重ね去月末平町に來たところ昔の男齋藤が平町七丁目に居住してゐるとの噂をきゝ十才になる千治に話した所未だ顏みぬ父戀しさに母子連れ立つて平署へ出頭齋藤の搜索方を願ひ出た

落盤で壓死

湯本町

大字湯本入山炭礦採炭夫影山要助(四二)は五日午前八時頃入坑來業中落盤のため無殘の壓死を遂げた

憎まれ口

ヘツと云ふものは何をする所かい彼れは腹の眞ん中に座つて何の役にも立たない樣だが曾て人間の生い立ちに忠勤を擢んでた功勞者でヘツ茶と云ふものを沸かす所だ、目も鼻も口も耳もなくて飯を食はず酒や煙草を飲まず女郎買ひ藝者買ひなどは勿論しない頗る君子然と澄し込んでゐるが、なか/\の洒落者で時々宿替へと稱する曲藝を演じて人を笑はせることがある、但し昨今の名士とか有士とか云ふ奴の如く金にならぬ訪問客に幾度も無駄足を踏ませる樣な意地惡ではないホンの近所への宿替へで訪問客があれば何時如何なる場合でもヘーツーですかと直ちに面會して呉れる罪のない奴なんである、かゝるが故に華盛頓の國際學術會議に於て我が國の政府代表が治安警察法十七條をヘツに例へあつても邪魔にならぬものと唱へたので爾來同十七條をヘツ十七條と稱へられた愛嬌者であるのだ

農業

水田裏作の蔬菜栽培（七）

本縣農試石城分場　矢ケ崎技手

播種法は播種先づ約二週間位前に排水良好なる土地を選定して東西に長く巾四尺の苗床と同様の床を設けるのであるが又當り十二坪位を要する床の肥料としては坪當り堆肥三貫目人糞尿二貫目、油粕二百目、木灰二百目位の割合に施せばよろしい

播種の際は床の表面を板で平に均らし二寸巾に條播を行ひ篩で種子の見えない程度に被土をなし輕く板で鎭壓し乾燥を防ぐ爲めに表面に薄く藁を被ひ灌水をして置くのである、以上の方法によれば順調に進んだ場合には大低後一週間乃至十日目位で發芽するものである、發芽したならば直ちに藁を取り除かなければならない

葱頭の育苗に於て注意することは苗の發育であるが發育狀態の惡いものは勿論良くないが徐り發育旺盛に過ぎるものも翌春に抽苔する大なる原因となるのであるから注意しなければならない、理想的の苗と云へば十一月中旬頃定植するものとして考へれば定植の際苗の大さは一本の重量一匁位のものが良い

西洋支那料理

サービスの良い
女給も揃つてご座います

期節的の
支那料理

四品付定食五十錢、五品付定食一圓

平町、四丁目
電話、五七六

カフエーボタン は特に勉強

新築移轉

債券、公債、兩替、金融

多田弁賀店

平町大工町
電話五九一番

新築移轉

内科
小兒科

矢吹醫院

平町字古鍛冶町縣社前通り
院長　矢吹大輔
電話二六六番

健康長壽の源泉

保健の精

朝日養素

二本、

友澤醫學博士の實驗推奨

名譽金牌受領

脚氣、腎臟病、胃腸病、病後の衰弱、産前産後、乳なき小兒、運動の過不足、妊婦等に最も大なる効果があります、◇百聞一見に如かず一ケ月飲んで見て下さい（一合代價六錢）

一ケ月定一合代金五錢

講崎商店朝日養素部

毎日午前午平町新川町二六
後二回配達　平出張所

開業

内科
一般

醫學博士　難波睦

福島縣平町大町（新川端）
電話五〇二番

内科
小兒科
入院應需

大森醫院

平町南町
醫學士　大森勇
電話二五八番

お醤油は……ヤマフル

醬油　味噌
たひら正宗
鰹節食料品

鹽屋

山崎合名會社

福島縣平町
電話（本）一〇番
（營業部）二七番

平町

藤沼醫院

入院應需

電話五〇七番

發行所　東京市丸の内昭和ビル　日本評論社
取次所　石城郡内郷村　内郷村報社

教育制度概論

四六版三二頁　定價五十錢　郵稅六錢

内科、小兒科
外科、性病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科

平町、電話五一三番

高久病院

院長　醫學士　高久忠

矢野恒太序　大内民藏著
服部宇之吉序

菊

食堂内に見事な懸崖ものと大輪もの十數鉢を飾つてございます

清い香り秀麗なる情景

居心地のよいソファー

晴やかな女給のサービス

ごゆつくりとお召下さいませ

のカフエー

タヒラ

（平町、驛前電話六二〇）

女給さん數名入用

諸毒下しの大妙藥

安樂丸

平町字古鍛冶町
特約店　山野邊藥局